

2025年3月6日

ヤクルトグループにおける人権尊重の啓発活動を実施

株式会社ヤクルト本社（社長 成田 裕）は、世界人権デー（12月10日）にあわせ、2024年12月を「ヤクルトグループ『ビジネスと人権』啓発月間」として、人権尊重の啓発活動を実施しましたのでお知らせします。

近年、ビジネスが人権に与える負の影響について社会的関心が高まっており、特にグローバルな活動を行う企業に対して責任ある行動が強く求められています。

ヤクルトグループも日本を含む世界40の国と地域でグローバルに事業展開しており、バリューチェーンのすべての人々の人権を尊重し、誰もが幸せを追求できる社会を構築することが、「私たちは、生命科学の追究を基盤として、世界の人々の健康で楽しい生活づくりに貢献します。」という企業理念の実現にもつながると認識しています。そしてこの認識をヤクルトグループ一人ひとりが持つことが大切であると考えており、2022年以来、世界人権デーに合わせて毎年12月に取り組みを強化しています。

今年度は、「ヤクルトグループ『ビジネスと人権』啓発月間」として、「『わたしの仕事』と『だれかの人権』はつながっている」をテーマに人権尊重の啓発活動を実施しました。

【「ビジネスと人権」啓発月間 周知ポスター（日本語版・英語版）】



※日本語・英語を含む10言語で作成しました。

記

1. 名 称：ヤクルトグループ「ビジネスと人権」啓発月間
～「わたしの仕事」と「だれかの人権」はつながっている。～
2. 期 間：2024年12月
3. 対 象：ヤクルトグループ全従業員
4. 活動内容：(1) 対象者が、オリジナル啓発動画「私たちの仕事と人権～身近な事例から学ぶ～」を視聴し、アンケートに回答しました。
(2) 回答人数に応じて、一人100円として金額換算し、日本ユニセフ協会を通じて、ユニセフへ寄付をしました。
※動画やアンケート、周知ポスターは、日本語・英語を含む10言語で展開しています。
5. 実施結果：(1) 回答者 16,563人
(2) 寄付額 1,656,300円

※「ヤクルトグループ人権方針」および「ヤクルトグループ人権方針ガイドライン」（国際基準・規範や専門的な表現が含まれる人権方針について、分かりやすく解説した資料）は以下に掲載しています。

https://www.yakult.co.jp/company/sustainability/social/human_rights/

以 上